

鳥取県地域医療介護総合確保基金

鳥取大学医学部附属病院 在宅医療推進のための看護師育成支援事業

令和8年度

在宅医療推進のための看護師育成プログラム

T-HOC(Tottori-Home Oriented Care)

受講生募集要項

鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター

在宅医療推進支援室



概要…1ページ Iコース(1.基礎コース)…2ページ Iコース(2.実践コース)…3ページ
IIコース…5ページ IIIコース(1. T-HOC在宅支援ナース認定コース)…6ページ
IIIコース(2.訪問看護知識向上コース)…7ページ IV病院・訪問看護ステーション間の出向・人事交
流…10ページ 応募手続き…11ページ

「在宅医療推進のための看護師育成プログラム」受講者募集要項

(T-HOC ナース育成プログラム)

これからの日本の医療は、訪問診療や訪問看護の方向へ大きく舵をきり、住み慣れた自宅で安心して暮らすことができる地域包括ケアシステムおよびコミュニティ文化再構築が急がれています。

今後ますます、患者の退院後の生活をイメージしながら入院中からセルフケア支援ができる病院看護師、在宅療養者の医療処置管理や薬剤管理などの高度な知識や技術を備えた訪問看護師が必要とされます。

そこで、鳥取大学医学部附属病院医療スタッフ研修センターでは、在宅生活志向の育成と訪問看護能力の強化を目的に3つの看護師育成コースを開設しています。新任看護師の在宅生活志向を育てる「Ⅰ在宅生活志向をもつ看護師育成コース」、病院で働く看護師が訪問看護への関心を高める「Ⅱ在宅医療・看護体験コース」、そして地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うことで訪問看護実践能力を高める「Ⅲ訪問看護能力強化コース」です。

現在の職場に勤務しながらでも学ぶことができるプログラムで、修了者には鳥取大学医学部附属病院より修了証が交付されます。なお、本事業は鳥取県からの補助を受けて行うため、受講にかかる費用は不要ですが、集合研修の会場・実習先等への移動手段は各自でお願いいたします。また併せて、県の予算確保状況によっては、開講コース、教育内容に変更の可能性もあること、若しくは予算案が否決された場合は本プログラムを開講しない場合もございますことを予めご承知おきください。

○コース概要

	Ⅰ 在宅生活志向をもつ看護師育成コース		Ⅱ 在宅医療・看護体験コース	Ⅲ 訪問看護能力強化コース	
	基礎コース	実践コース		T-HOC 在宅支援 ナース認定コース	訪問看護知識向上 コース
目的	病院勤務看護師の在宅生活志向を高める		在宅で生活できるための具体的な患者支援方法について体験し、実践することができる	訪問看護に必要な知識・技術の向上を図る	
募集人数	40名	8名	30名	8名	10名
対象	入職後3年以内の病院看護師	基礎コース(2年間)の修了者	3年目以上の看護職、未就業の看護職経験者(准看護師を含む)	訪問看護に興味がある看護職、Ⅰ・Ⅱコース修了者、訪問看護師、未就業の看護職経験者(准看護師を含む)	現在訪問看護師および訪問看護経験のある看護師、訪問看護に興味のある看護師
期間	2年間	1年間	半年間	1年間	上限5年間
内容	2年間を通し、集合研修及びディスカッション、ノート提出により在宅意識を高める。	集合研修及び訪問看護ステーション・地域包括支援センター・訪問診療同行の各実習、ノート提出や、セミナー受講を行う。	集合研修及び訪問看護ステーション実習、退院後家庭訪問実習、レポート提出や振り返り、セミナー受講を行う。	講義及び演習は30講義以上を受講。訪問看護ステーション・地域包括支援センターでの実習、事例検討によるグループディスカッション、レポート提出を行う。	講義及び演習内容は、Ⅲコース共通とする。講義の受講数は規定しない。ただし、修了証の発行は8講義以上受講とする。

Ⅰ 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

基礎教育で学んだ在宅生活志向の看護は、病院就職後には知識習得の機会が乏しくなります。そこで、基礎教育の地域・在宅看護論を、Home Oriented Care（病院内における対象者の在宅生活を志向したケア、以下 HOC という）の概念に発展させて、継続教育を行うことで、対象者のこれまでの生活と退院後のこれからの生活を見据えた看護を実践することができる看護師を育成します。

本コースには、原則として入職後3年以内の看護師を対象とする基礎コースと、基礎コース修了者を対象とした実践コースの2つのコースがあります。

1. 基礎コース

募集人数	40名
対象	病院看護師（入職後3年以内）
期間	2年間（令和8年5月～令和10年3月）

【1年次】（研修内容については予定のため変更になる場合があります）

目的：病院看護師が在宅生活志向を高めることができる。

目標：1. 患者の入院前・退院後の生活を意識することができる。

2. 患者が地域・在宅療養へ移行するために、病院看護師として多職種との連携の必要性を理解することができる。

	ねらい・内容
第1回集合研修	新人看護師が、在宅生活志向の必要性を知る。講義とグループ討議。
第2回集合研修	訪問看護ステーションへ出向した看護師から、在宅生活志向への広がりを持った退院支援について学ぶ。講義とグループ討議。
第3回集合研修	若手訪問看護師の講義から訪問看護の実際を知り、本人・家族の意向に沿った退院支援を考える。講義とグループ討議。

【2年次】※2年次予定の詳細は、1年次の12月ごろにお知らせします。

目的：病院看護師が在宅生活志向に基づいた入退院支援を実践できる。

目標：1. 患者の入院前・退院後の生活について必要な情報を得てアセスメントし、その人にあった入退院支援を実践できる。

2. 適切な入退院支援をするために多職種と連携できる。

	ねらい・内容
第4回集合研修	在宅生活志向に必要な知識の確認ができる。講義とグループ討議。
第5回集合研修	担当看護師、認定看護師、退院支援専任看護師らと訪問看護師、保健師、地域の行政機関等との連携した退院支援の取り組みを学び、担当看護師役割を明確にする。講義とグループ討議。
個人課題	退院支援を行った患者から退院後の生活状況を情報収集し、自身の支援内容を評価でき退院支援の視点・内容を検討する。患者への退院支援インタビュー（2事例）
退院支援インタビュー後の意見交換会	患者への退院支援インタビューを実施後、他の受講生と情報交換し、実施できている点と課題となることを明確にすることができる。

2. 実践コース

募集人数	8名
対象	原則として基礎コース（2年間）を修了した者
期間	1年間（令和8年5月～令和9年3月）

目的：基礎コース（2年間）を修了した者が実践を通して在宅生活志向を高める。

目標：1. 病院看護師の在宅生活志向を強化し、退院支援の実践に活かすことができる。

2. 患者とその家族が、在宅療養を送るために必要な地域の資源を提供することができる。
3. 多職種との連携を加味した退院支援を実践することができる。

(研修内容は変更になる場合があります)

	ねらい・内容
第1回集合研修	訪問看護師の役割を知ることで、生活を中心とした看護の視点を明確にする。講義。
第2回集合研修 (セミナー)	第17回T-HOC特別セミナー【必須研修】 T-HOC 特別セミナーに参加し T-HOC 受講生と総合診療医、医学生および看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。
第3回集合研修	3年間の学びを、今後の看護活動にどのように反映するか明確にする。講義。
実習 ※実習要項参照	<p>①訪問看護ステーション実習・・・5日間 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。訪問看護師として多職種と協働する必要性や役割を理解できる。鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。(訪問看護ステーションの都合により日程を調整する) ※所属施設内の訪問看護ステーション実習も可能</p> <p>②地域包括支援センター実習・・・1日 地域包括ケアシステムのなかで地域包括支援センターが実際におこなっている地域住民への働きかけを知る。 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。</p> <p>③訪問診療同行実習・・・1日 在宅療養者の生活を支援するひとつである訪問診療の実際を知る。</p> <p>④退院支援実習 患者の生活を理解し、より具体的な退院支援の視点を持つ。 退院支援が必要な患者から1事例を選び、退院前カンファレンスの実施や退院後家庭訪問等の退院支援を実施し振り返りをする</p>
実習後の意見交換会	所属先や経験が異なる受講生がお互いの学びを共有することで理解を深め、今後の看護実践に活かすことができる。実習報告、グループ討議。

II 在宅医療・看護体験コース

地域完結型医療において、病院で働く看護職に求められる能力、すなわち、患者が地域で療養できるよう入院中から支援することができる人材育成を行います。患者の入院前・退院後の生活背景をイメージし、病気を抱えながらも地域で生活できるよう入院中から様々なケアを提供できる看護師を育成します。訪問看護についての関心や知識を深め、訪問看護師としての就労も自らのキャリアコースの一選択肢として考えることもできます。

訪問看護師としてキャリアアップを目指す方には、訪問看護職員養成講習（鳥取県看護協会）や本プログラムのⅢ訪問看護能力強化コースもあります。

募集人数	30名
対象	勤務3年目以上の看護職（准看護師を含む）、未就業の看護職経験者
期間	半年間（令和8年5月～令和9年11月）※令和9年3月修了式

目的：3年目以上の看護職（准看護師を含む）、未就業の看護職経験者が、在宅で生活するための具体的な患者支援方法について体験し、実践することができる。

目標：体験学習により、患者の生活をイメージする力を養成する。

1. 退院後の患者の生活をイメージする力を養成する。
2. 在宅療養者及び家族に対して果たす役割・機能・特性を理解する。
3. 患者が療養の場を移行する際に、看護の継続性を重視したマネジメントができる。

（研修内容は変更になる場合があります）

	ねらい・内容
第1回集合研修	・訪問看護師の役割や、実際の業務について学ぶ。 ・介護保険のサービス利用に至る過程や、在宅医療体制の中での訪問看護の役割を学ぶ。
第2回集合研修	多職種連携の中でみえる地域での看護師の役割を学ぶ。講義とグループ討議。
第3回集合研修 (セミナー)	第17回T-HOC特別セミナー【必須研修】 T-HOC 特別セミナーに参加し T-HOC 受講生と総合診療医、医学生および看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。
第4回集合研修	訪問看護ステーションへ出向した看護師から、在宅生活志向への広がりを持った退院支援について学ぶ。講義とグループ討議。
実習 ※実習要項参照	①訪問看護ステーション実習・・・3～5日間（受講生が選択） 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。 訪問看護師として多職種と協働する必要性や役割を理解できる。 鳥取県内の訪問看護ステーションで訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 (訪問看護ステーションの都合により日程を調整する) ※所属施設内の訪問看護ステーション実習も可能
	②退院後家庭訪問実習 ※所属長と相談の上決定する 入院中に退院支援に関わった患者に対して退院後訪問を行い実際の在宅療養生活を理解するとともに、自己の看護実践を振り返る。
実習後の意見交換会	実習で学んだことを、他の実習先で学んだ受講生と情報交換をし、学びを深める。実習報告とグループ討議。 * 訪問看護ステーション実習終了後に行います。
課題提出	退院後家庭訪問実習レポート

Ⅲ 訪問看護能力強化コース

訪問看護に求められるスキルの高度化に対応するために、地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うものです。在宅療養者および家族に対して、熟練した看護技術を用いて、水準の高い看護が実践できる看護職者を育成します。

また、本コースは、訪問看護師としての再就職を希望する未就業の看護職経験者への復職支援プログラムの一部でもあります。

1. T-HOC 在宅支援ナース認定コース

募集人数	8名
対象	I・IIコース修了者、訪問看護経験者、未就業の看護職経験者、訪問看護能力の強化を目指す看護職（准看護師を含む）
期間	1年間（令和8年5月～令和9年3月）

目的：受講生のニーズに応じて訪問看護師に必要な知識、技術の向上を図る。

目標：訪問看護師に必要な知識・技術の向上を図るとともにリーダー的役割を実践する。

1. 在宅療養者及び家族を全人的に捉え、専門的な知識と質の高い看護を提供できる。
2. 在宅療養者が療養の場を移行する際に、医療と介護の連携、看護の継続性を重視したマネジメントができる。
3. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働しチームの一員として役割を果たすことができる。
4. 地域包括ケアシステムを効果的に活用した療養者支援の質向上のため、看看連携におけるリーダーとして地域の人材育成の役割を果たすことができる。

（研修内容は変更になる場合があります）

	ねらい・内容
必須講義	ID103：『訪問看護の機能と役割』 ----- ID601：『訪問看護実践に役立つ概念』
選択講義及び演習	獲得したい能力に関連する科目を中心に 30 講義以上を受講する。
実習 ※実習要項参照	①訪問看護ステーション実習・・・2～3日間（受講生が選択） 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。 訪問看護師として多職種と協働する必要性や役割を理解できる。 鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 ※所属施設内の訪問看護ステーションでの実習も可能 ----- ②地域包括支援センター実習・・・1日 地域包括ケアシステムのなかで地域包括支援センターが実際におこなっている地域住民への働きかけを知る。 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。
実習後の意見交換会	所属先や経験が異なる受講生がお互いの学びを共有することで理解を深め今後の看護実践に活かすことができる。実習報告、グループ討議。
課題提出	訪問看護ステーション実習レポート

○受講・実習について：

1. 受講者の経験や勤務等を考慮し柔軟に対応するオーダーメイド型研修です。また、遠隔講義ツール(zoom)により職場や自宅でのオンライン受講が可能です。
※但し、遠隔講義が可能な一部の講義となりますので、ご確認ください。
2. ID103：『訪問看護の機能と役割』、ID601：『訪問看護実践に役立つ概念』の2講義は**必須講義**です。
3. 講義及び演習は、プログラムの中から獲得したい能力に関連する科目を中心に30講義以上を受講します。
4. 「Ⅰ.在宅医療の社会システム」「Ⅱ.在宅医療に必要な病態学」「Ⅲ.訪問看護に必要な技能」の各分野から1講義以上を受講した方は、「T-HOC 在宅支援ナース」として認定証及びバッジを授与いたします。
5. 講義の中には、鳥取大学医学部附属病院 看護部主催の専門看護師・認定看護師による専門分野コース研修と認定看護師教育課程の聴講（DVD学習）も含まれます。但し、看護部主催のコース研修は複数コースの受講も可能ですが、受講数に加算できるのは1コース受講のみです。
6. 訪問看護に関する学会、研修会等、病院内の研修等へ参加された場合は、受講証明書および報告書を支援室に提出していただき、参加された研修会の内容等を審査のうえ受講数への加算を決定いたします。但し、受講数に加算できるのは最大2つの学会・研修会等とします。
7. 訪問看護ステーション実習（2～3日間）・地域包括支援センター実習（1日）を行い実習後の意見交換会をします。
8. 修了者には、鳥取大学医学部附属病院より修了証を交付いたします。
9. T-HOC 講義時間（基本）
 - 1 限：9：00～10：30
 - 2 限：10：40～12：10
 - 3 限：13：00～14：30
 - 4 限：14：40～16：10

【重要！】 講義によっては、上記の時間と異なる場合があります。
受講前には、必ず 「講義時間・講義室」 を確認してください。

2. 訪問看護知識向上コース

募集人数	10名
対象	現在訪問看護師および訪問看護の経験がある看護師、訪問看護に興味のある看護師を対象とする
期間	上限5年間

目的：受講生のニーズに応じて訪問看護師に必要な知識、技術の向上を図る。

目標：訪問看護師に必要な知識、技術の向上を図り質の高い看護が実践できる。

1. 在宅療養者及び家族を全人的に捉え、専門的な知識と質の高い看護を提供できる。
2. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働しチームの一員として役割を果たすことができる。

(研修内容は変更になる場合があります)

	内 容
必須講義	ID103：『訪問看護の機能と役割』
	ID601：『訪問看護実践に役立つ概念』
選択講義及び演習	獲得したい能力に関連する科目を中心に8講義以上を受講する。

○受講について：

1. 受講者の経験や勤務等を考慮し柔軟に対応するオーダーメイド型研修です。また、遠隔講義ツール (zoom)により職場や自宅でのオンライン受講が可能です。
※但し、遠隔講義が可能な一部の講義となりますので、ご確認ください。
2. ID103：『訪問看護の機能と役割』、ID601：『訪問看護実践に役立つ概念』の2講義は**必須講義**です。
3. 在宅医療・看護についての講義及び演習は、プログラムの中から獲得したい能力に関連する科目（選択科目）を中心に8講義（必須含む）以上を受講します。また、事例検討によるグループディスカッション、レポート提出等により能力強化を図ります。
4. 上限5年間で8講義（必須含む）以上受講された場合は、修了証を交付します。
5. T-HOC 在宅支援ナース認定コースに受講変更する場合、受講数はそのまま維持されます。
6. 訪問看護に関する学会、研修会等、病院内の研修等へ参加された場合は、受講証明書および報告書を支援室に提出していただき、参加された研修会の内容等を審査のうえ受講数への加算を決定いたします。但し、受講数に加算できるのは最大2つの学会・研修会等とします。
7. T-HOC 講義時間（基本）
 - 1 限：9：00～10：30
 - 2 限：10：40～12：10
 - 3 限：13：00～14：30
 - 4 限：14：40～16：10

【重要！】 講義によっては、上記の時間と異なる場合があります。

受講前には、必ず 「講義時間・講義室」 を確認してください。

◆講義及び演習（※予定のため変更になる場合があります。）

	科 目	方 法	講義数
I 在宅医療の社会システム	1.地域包括ケアシステム	講義	6
II 在宅医療に必要な病態学	2.在宅医療病態論	講義・演習	6
III 訪問看護に必要な技能	3.在宅における医療処置管理 鳥大附属病院看護部コース研修 (講義は3～7回/1コース)	講義・演習	12
	4.在宅薬剤管理	講義	3
	5.フィジカルアセスメント	講義・演習	5
	6.セルフケア支援	講義・演習	1
	7.家族支援	講義	2
	8.エンド・オブ・ライフケア	講義	3
	9.対人関係	講義	4
	10.リーダーシップ	DVD学習	5
	11.指導	DVD学習	3
	12.看護倫理	DVD学習	5
	13.看護技術	DVD学習	6
IV訪問看護に必要な知識の習得のための研修会や、学術集会参加			
合計講義数	T-HOC 講義(DVD含む) 看護部コース研修		61

IV 病院・訪問看護ステーション間の出向・人事交流

[出向プログラム]

募集人数：2名程度

対象：① 原則 T-HOC：Iコース（基礎・実践コース）を修了した者
② ①の希望者が無い場合、T-HOC：IIコース、IIIコースを修了した者
③ ①及び②の希望者が無い場合、T-HOCを受講している施設で出向を希望する看護師

資格・条件：看護師臨床経験3年以上
クリニカルラダー レベルⅡ～Ⅲ

期間：7月～3月（9か月間）

目的：

- ①地域全体の看看連携を強化
- ②多職種連携による看護の専門性を向上
- ③医療機関・訪問看護ステーションの両者が課題を共有し解決に向けて取り組むことにより関係性の構築・連携強化
- ④地域全体での人材育成の促進
- ⑤病院勤務看護師の在宅志向への意識の向上
- ⑥訪問看護の理解の促進、魅力の発信

内容：

- ・出向先は1施設につき1看護師とする
- ・出向先訪問看護ステーションでの看護業務
- ・出向後は出向前の籍に戻り、退院支援ナース等として承認し、職場で活動する。
- ・鳥取大学医学部附属病院の場合は、看護部コース研修「退院支援人材育成コース」の講師を務める。

[人事交流会]

趣旨：

出向者および出向経験者、看護管理者が集まり、出向状況を共有しながら問題や課題を参加者で話し合い、アドバイスを得る機会とする。また、交流会が出向者の出向を継続する活力につながり、訪問看護の魅力を感じていただくことを期待し、交流会を開催する。

開催日：10月～11月頃

○応募手続き

① 申し込み

受講コース	受付開始	〆 切
I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（基礎）	3月2日（月）	5月15日（金） ※定員に達しない場合は〆切を延長いたします。
I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（実践）		
II 在宅医療・看護体験コース		
III 訪問看護能力強化コース		

② 提出書類 ※次ページに記入例があります

- (1) 様式1：受講申込書
- (2) 様式2：履歴書（写真は免許証等のカラーコピー可）
- (3) 様式3：受講承諾書（所属長の承諾を得ること）

※未就業の看護職経験者の方は、T-HOCへご相談ください

☆添付の様式1～3はコピーしてお使いください。（ホームページからもダウンロードできます）

③ 送付先・連絡先

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター在宅医療推進支援室

電話 0859-38-6994 FAX 0859-38-6996

④ 決定通知

受講決定通知書は、所属長宛にお送りします。（5月中旬頃を予定）

⑤ 問い合わせ方法

- 電話：0859-38-6994（平日8：30～17：00）
- メール：t-hoc@med.tottori-u.ac.jp

（お問い合わせ内容、お名前、資料送付をご希望の場合はご住所など）

- 問い合わせフォーム：裏表紙のQRコードを読み込んでください

令和 年 月 日

鳥取大学医学部附属病院

医療スタッフ研修センター長 殿

私は、鳥取大学医学部附属病院において研修を受けたく、ここに必要書類を添えて申請いたします。

希望するコース（○で囲んでください）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（基礎） ・ I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（実践） ・ II 在宅医療・看護体験コース ・ III 訪問看護能力強化コース [T-HOC在宅支援ナース認定コース] ・ III 訪問看護能力強化コース [訪問看護知識向上コース] 	
◆志望動機（出来るだけ具体的に記載してください）	
ふりがな	
氏名	
現住所	〒 -
連絡先電話番号※	-
メールアドレス (資料添付の場合あり)	
勤務先名・部署	
勤務先住所 (電話番号)	〒 - () -
過去にT-HOCの受講経験	あり ・ なし
あり：受講コースに○	I 基礎コース ・ 実践コース ・ IIコース ・ IIIコース ・ 出向

必ず希望するコースを○
で囲んでください必ず連絡が取れるアドレスをご記入ください。
(受講決定のご連絡や今後の予定について送信します)
※大文字、小文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、0(ゼロ)、
o(オー)等ははっきりと分かるようにご記入ください

※日中に連絡させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※メールアドレスは、英数字をはっきりとご記入ください。(例：数字0(ゼロ)/O(オー)、1(イチ)/I(エル)など)

なお、ご記入いただいた個人情報、本事業以外の目的には使用いたしません。

令和 年 月 日現在

履 歴 書

写真を貼る位置

縦 36mm~40mm
横 24mm~30mm
(免許証等のカラー
コピーなど)

ふりがな		性別
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
免許の種類	登録番号	登録月日
看護師籍	第 号	年 月
保健師籍	第 号	年 月
助産師籍	第 号	年 月
准看護師籍	都道府県 第 号	年 月
学 歴		
年 月	鳥取県立〇〇〇〇高等学校 卒業	
年 月	〇〇大学〇〇部〇〇科 入学、〇〇〇専門学校 入学 など	
年 月	同 上 卒業	
年 月	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 高等学校卒業からご 記入ください </div>	
年 月		
年 月		
年 月		
職 歴		
年 月	〇〇〇〇 〇〇病院 看護師 採用 〇〇科配属	
年 月	同 上 退職	
年 月	医療法人〇〇会 〇〇病院 看護師 採用 〇〇科配属	
年 月	現在に至る	
年 月	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 配属先の診療科を ご記入ください </div>	
年 月		
年 月		
年 月		

※ご記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。

受講承諾書

令和 年 月 日

鳥取大学医学部附属病院

医療スタッフ研修センター長 殿

ふりがな	
受講者名 (本人自署)	
所属施設	
部署	
職名	
受講コース (コース名に○印)	I 在宅生活志向を持つ看護師育成コース (基礎) I 在宅生活志向を持つ看護師育成コース (実践) II 在宅医療・看護体験コース III 訪問看護能力強化コース [T-HOC在宅支援ナース認定コース] III 訪問看護能力強化コース [訪問看護知識向上コース]

このたび当施設より上記の者が、鳥取大学医学部附属病院在宅医療推進のための看護師育成プログラムの研修コースを受講することを承諾いたします。

必ず受講の承諾を得てください。

なお、研修等の案内文は記載された受講承諾者宛に送付いたします。

所属施設における受講承諾者 (所属長)	
役職	お名前



募集要項、受講申込書

ダウンロード



問い合わせフォーム



T-HOC ホームページ

(<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/hoc/>)

《お問い合わせ先》

鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター

在宅医療推進支援室

電話 : 0859-38-6994 FAX : 0859-38-6996

e-mail : t-hoc@med.tottori-u.ac.jp